

# I-PF Japan 2020 Virtual

11月18～20日にバーチャルで開催(出展社紹介4～10面)

国際プラスチックフェア せて37～2社がプラスチック 協議会(松井安信会長)は、ク・ゴムに関する新技術や新 プラスチックとゴムの専門 製品などを出展、紹介する。することを目的としてバーティカル展「I-PF Japan(国際プラスチックフェア)」 10月に幕張メッセで開催予定だったが、新型コロナによる中止を決め、リアル展「I-PF Japan 2020 Virtual」として開催する。日本工業界における新製品今回、共同出展社を含め や技術の発表の場として、

示会に代わる「プラスチック展示会」として開催する。これまでは異なる新たな取り組みと位置付け、ラ

イブ感や双方のコミュニケーションを通じて開催する。オンライン上でリアルな取扱い組みと位置付け、ラ

対話できる

問い合わせ先=同協議会事務局 03-6401-0066  
会期中は出展者と入場者 6. 図: office\_ipfjap  
an@ipfjapan.jp

（ライアン）の展示会の良さを

これまで商談の場を創出 残したまま 場所や時間の がである。会期終了後は、制約を受けないオンライン 2021年5月24日までの

特性を組み合わせた新 半年間、継続展示として出

展示会として展開する。 展製品の情報を閲覧する

## 自社オリジナル製品と技術力を

2020年10月 (6)

### 天昇電気

#### 注目雨水貯留浸透施設など

を説明しました。

訂正

本紙9月号4面

の天昇電気工業㈱の矢吹第

今回はバーチャル展であるが、自社オリジナル製品はじめ、長年培ってきた技術や新事業など幅広く紹介

でありますとか、ぜひ同社ブースへアクセスして欲しいといつている。

を迎えた。現在、プラスチック射出成形を中心とし、受託生産から自社製品の開発

まで幅広く、商品企画から

・デュッセルドルフ)、その他と国内・海外の展示会へ出展、来場者に直接技術

抗値 $10^6 \Omega$ 以上は、 $10^9 \Omega$ 以下の誤りでしたので訂正します。

天昇電気工業㈱は、自社オリジナル製品と、高度な金型設計から成形・加工、最終アッセンブリまでワンストップでできるプラスチック射出成形加工の総合メーカーとしての技術力を主体に紹介する。自社オリジナル製品には特に注目されている雨水貯留施設「テンレイン・スクラン」はじめ、感染性医療廃棄物容器「ミッペール」「導電性コンテナ」「テンパ」「EEDシリーズ」、帯電防止コンテナ「テンパ」「Eシリーズ」がある。

同社は、1936年(昭和11年)に創業、木製箱・タルを国内で初めて樹脂化したプラスチック加工のパ

イオニアで、今年で85年目

展示了への出展は、2018年「CHINAPLAS S(中国・上海)、2019年「NABIS(東京)」

年、「NABIS(東京)」

年、「NABIS(東京)」

